



びっきー

第1号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

令和2年度第1学期始業式

3月3日からの臨時休業で、修了式を行ったものの、平成元年度が中途半端に修了した感じでした。生徒たちにおいても、友達に会いたかったり、部活動をしたかったりの辛抱とストレスの生活ではなかったでしょうか。全国的に臨時休業をしたにもかかわらず、なかなか新型コロナウイルス感染が収束に向かわず、1月前より拡散している状況です。県内に8人の感染防止者が発生したこともあり、急遽放送による赴任式、始業式に変更しました。始業式において、次のようなことを話しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が、全国、世界的に拡散し続けています。県内にも8人の感染者が出てしまいました。皆さんもこの見えない敵とどう立ち向かうか、今後もしっかり各自が意識して、感染予防対策を取ってください。学校においても、今後も状況によって、学校行事の規模縮小、時間短縮、あるいは中止もやむを得ないことになっていくかも知れません。学校生活や部活動、学校行事も「当たり前」がどれだけうれしいことか皆さんも身に染みて感じていることと思います。みんなで、この危機を乗り越えましょう。

さて、2年生、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。今日からみなさんは新しい学年となり、この江北中学校を支える中心になっていきます。

2年生は、下級生を迎え、中堅学年として1年生をリードする立場になります。ピンとこないかも知れませんが、今年は地区中体連が7月上旬にあり、あと3ヶ月であなたたちが中心となって部活動を作り上げていかなければなりません。また、後半は3年生からバトンを渡され、生徒会活動など中心になって学校をリードしていく役目を意識するときになります。

そして3年生。最高学年として学校を背負って立ち、学校全体を引っ張っていく大きな存在となります。3月には本校から巣立っていきますが、その前に進路選択という大事な場面を迎えます。自分は3年生であることを早く自覚した人が最終的に強いと思います。夢や希望を持ち、胸を張って卒業していけるようこれからの生活で力を発揮してください。

新年度の初めにあたり、これから始まる生活で大事にしてほしいことを話します。人は生きていくとき、様々な困難に直面します。でも、中には、そのことをバネに乗り越えていく人もいます。例えば、オリンピックやパラリンピックなどに出場する選手たちも、まさに困難を乗り越えたアスリートたちだと思います。心が折れても立ち直る力を「レジリエンス」と言います。「心の回復力」などと訳されています。

レジリエンスの意味を、2つのボールで例えてみます。1つは鉄でできたボールです。鉄球は、とても頑丈です。何かが当たっても、多少のことでへこむことはありません。もう1つは、ゴム製のボールです。こちらは押したり、力を与えたりすると、へこみます。でも、跳ね返して元に戻ろうとします。この元に戻る様子を心と捉えてイメージしてみてください。そうです。固くて強いと言うより、柔らかくてしなやかな感じです。このしなやかな心がレジリエンスと思ってください。レジリエンスは、もともと人に備わっているものなのです。そして、特に日本人はその力を持っていると世界の人々から言われています。

2011年3月11日、大災害となった「東日本大震災」で被害に遭われた人々は、悲しみと辛さの底にありました。しかし、冷静に、そして、忍耐強く立ち上がる日本人の姿、負けずに復興へと立ち上が

る姿に、世界中の人々から「なんてレジリエントな国民なのだ」と尊敬の念を持たれました。

また、同じ年の2011年7月、日本女子のサッカーチームの「なでしこJAPAN」が女子ワールドカップで初めて世界一になりました。決勝戦で、強豪アメリカに先制され、驚異的な粘り強さを見せ、見事逆転勝利を果たしました。その翌日、海外のメディアは、「なでしこJAPAN」を「レジリエントなチーム」「なでしこはレジリエンスを発揮した」と称賛されました。また、大震災後の日本国民に勇気と感動を与えてくれました。

これから始まる生活で、皆さんは様々な出来事と出逢っていくでしょう。その中では、苦しい場面に向かうこともあると思います。そして、悩みにぶつかるときがあるでしょう。そのとき、レジリエンスの言葉を思い出してください。心が折れそうなとき、折れても立ち直る力、ゴム製のボールのように、しなやかな心を持って乗り越えていってほしいと思います。

このレジリエンスの力を高めていくのに必要なものとは何でしょうか。1つは、自分に「できる力」があるということです。「きっと自分にはできる」の気持ちです。反対にレジリエンスを弱める言葉が、「どうせ自分にはできない」の「どうせ」です。人には、それぞれのよさがあります。そのよさに気づかず、できない自分、だめな自分ばかりを見てしまうと「どうせ」となりますが、あきらめてしまったら、そこで終わりです。辛いことがあっても、よく見てみるとよい面があるはずです。そして、折れてしまいそうなとき、へこんでしまいそうなとき、どうするのか。ぜひ、身近にいる人に相談してください。そして、自分自身の行動を振り返ってみてください。いま、授業で最後に振り返りを行っていると思います。そのときどんな気持ちになりますか。改めて自分自身を客観的に捉えることができるようになります。何ができたのか、何がわかったのか、そして、何ができていないのか、何がわかっていないのか。そのことがわかるだけで、次に進むとき大きな違いがあります。どこをどのようにしていけばよいのか、次の見通しが立てられるからです。そして、「やってみよう」の気持ちをもってください。あきらめずに、どこをどうすればよいのかを自分自身と向き合うことで、向かう方向、やることが見えてきます。ぜひ、これから始まる1年間を実りあるものにするために、授業で行っている振り返りと同様に、他のことでも振り返りを行い、次への見通しを持てるようにしてみてください。そして、お互いの考えや意見を伝え合い、支え合い、学び合って、お互いのよさを見つけてください。そうしたとき、レジリエンスの力が高まっていき、大きく成長することができます。

本校教育目標の「自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」の「たくましく生きる」。そして、めざす生徒像の3つ目の「粘り強く挑戦する生徒」には、「多少のことではあきらめない生徒」という意味を込めています。

皆さんのこの1年間の生活を大いに期待しています。

令和2年度赴任者

この度の定期異動等で、以下の教職員が赴任いたしました。保護者や地域のみなさまには大変お世話になります。前任者同様、よろしくお願いいたします。

No.	職 名	氏 名	教 科	前 任 校 等
1	教 諭	大串 斉生	数 学	小城市立三日月中学校
2	指導教諭	大石 隆基	数 学	白石町立有明中学校
3	教 諭	秋永 修一	英 語	多久市立東原庁舎東部校後期課程
4	教 諭	武田 宏美	国 語	白石町立福富中学校
5	教 諭	大屋 友紀子	保健体育	有田町立有田中学校
6	教 諭	岩永 悠平	社 会	新採（太良町立多良中学校）
7	養護教諭	井手 登志美	—	佐賀市立城西中学校
8	主 事	川路 彩也華	—	新採
9	講 師	田島 隆一	理 科	白石町立福富中学校
10	講 師	東島 彩	音 楽	多久市立東原庁舎東部校後期課程
11	講 師	中島 裕也	数 学	唐津市立海青中学校